

石川県安全運転研修所の平成30年度管理状況

施設所管課	石川県警察本部交通部運転免許課
施設管理者	(一財)石川県交通安全協会
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
中期経営目標 (H30～R4)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数については、現在の水準を下回らないよう更なる利用促進に努めます。 ・利用者アンケートによる満足度については、引き続き95%以上を維持します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項 目	実施内容
① サービス向上・利用促進	<p>施設利用者の利便向上対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修課長が、毎月1回、全職員に利用者に対する親切、丁寧な対応について教養を実施 ・研修生の待合時間を利用した事故防止対策として、待合室に動体視力計、夜間視力計を設置 ・待合室に50インチディスプレイを設置し、啓発ビデオを放映 ・衝撃体験研修場所の寒暖対策として、ヒーター及び扇風機を設置 ・朝の開所時間を1時間30分早めて午前7時30分に開所 <p>自主事業の企画実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定休日を毎週水曜日とし、土・日曜日の利用者ニーズに対応 ・高齢者の利用促進のため、高齢者に対して利用料の一部助成を実施（H30年度55名） ・女性利用者の利用増を図るため、女性指導員2名体制を確立
② 広報活動	<p>研修所に関する広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石川県交通安全協会のホームページに、免許の取得挑戦やコース別の研修内容を掲載 ・交通安全キャンペーン・交通安全県民大会等行事開催時に「研修所利用案内」チラシを配布 ・石川県交通安全協会機関誌「こうつういしかわ」及び会員に発行している「安全運転便利帳」に研修所の利用案内を掲載 ・更新時講習の際に研修所のミニパンフレットを配布 <p>関係機関との連携による広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石川県安全運転管理者協議会と連携し、加盟事業所への広報を実施 ・石川県農業機械研修所への広報

(2) 令和元年度における取組内容の見直し等

実施内容
<p>県警及び関係諸団体と連携し、会社の従業員及び一般の運転者、特に高齢運転者の交通事故防止に資する体験・実践型の研修を充実させ、安全運転の知識と技術の向上、多様な交通環境に適用できる運転者の育成に努めます。</p>

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H26～28 年度平均 (基準値)	H29年度	H30年度	前年度比	基準値比	R4年度 (目標値)	
(1) 利用者数 (人)	5,322人	4,576人	4,702人	102.8%	88.4%	5,400人	
(2) 貸館稼働率 (%)				.0ポイト	.0ポイト		
(3) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス (%)	98.2	100.0	100.0	.0ポイト	1.80ポイト	95.0	
施設の維持管理 (%)	100.0	98.2	100.0	1.80ポイト	.0ポイト	95.0	

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由>

指 標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	県の安全運転サポート車購入費補助金事業に係るリフレッシュコースの実施、外国免許切替研修の増加のため	会社の職員研修や安全運転サポート車補助金事業に係るリフレッシュコース、外国免許切替研修が増加する一方、原付講習対象者や上位免許の取得を目指すチャレンジコースの利用者が減少したため
貸館稼働率		

<利用者アンケート結果（平成30年度実施 有効回答数 利用者サービス51件、施設の維持管理47件）>

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス (%)	78.4	21.6		
施設の維持管理 (%)	74.5	25.5		

3 施設等の維持管理

項目	実施内容
(1) 清掃	・ 毎日実施（業者に年間契約で委託）
(2) 設備保守点検	・ 自家用電気工作物保守管理業務 隔月 1 回（業者に年間契約で委託） ・ 石川県安全運転研修所設備点検等業務 毎月 1 回（業者に年間契約で委託）
(3) 植栽維持管理	・ 職員が年間を通して随時実施
(4) 警備	なし
(5) 小規模修繕	・ 草刈り機修理

4 管理運営体制

項目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	・ 緊急事態発生時の対処要領に基づき対応
(2) 個人情報の管理状況	・ 申込書、教習原簿等は研修課長が施錠のできるキャビネットに保管 ・ 受付窓口に分離衝立を設置 ・ 多人数の受付は、研修室にて書類記入後、個別に受理

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

（単位：件）

項目	許可件数	不許可件数	不許可理由
合計	0	0	

(2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

（単位：千円）

項目	収入額	減免額	減免理由
リフレッシュコース	6,194	0	
チャレンジコース	8,849	0	
貸コース	600	0	
原付講習	307	0	
合計	15,950	0	

(3) 収支決算

(単位：千円)

収 入		支 出	
指定管理料		人件費	12,464
利用料収入	15,950	光熱水費	1,353
その他		修繕費	1
		委託料	1,356
		その他	1,235
合 計 ①	15,950	合 計 ②	16,409
収支差額 ①－②	-459		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
平成30年7月	白線が見えづらいところがある。	早期の改修を目指します。
平成31年2月	交差点、横断歩道等に人形を増やしてほしい。	研修コースを見直すことの可否を検討します。

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応

8 その他報告事項など

<ul style="list-style-type: none">・降雪時のコース内除雪作業の実施（冬期間随時）・コース内の草刈り、溝掃除等の実施（随時）

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	B	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートにより、意見や要望把握に努め施設運営に活かすことでサービスの質を向上させている。 ・ホームページへの掲載、交通安全キャンペーン時の研修所広報パンフレット配布等により、利用促進に努めている。 ・開所時間を1時間30分早め午前7時30分とし、利用者の利便性向上を図り、利用促進に努めている。
(2) 施設等の維持管理	B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内は清掃業者や職員により、常に清潔が保たれており、仕様書等に基づき管理の徹底を図っているほか、電気設備や施設設備についても保守委託することで適正な管理がなされている。 ・施設の設備については、老朽化が否めないところであるが、職員の日常点検等により、施設、設備の維持管理が保たれている。 ・各種備品については、台帳と現物照合を定期的に行っているなど、適正な管理が行われている。
(3) 管理運営体制	B	<ul style="list-style-type: none"> ・業務に関する教養研修・講習が定期的に十分行われている。 ・緊急事態発生時の管理・連絡体制は整えられており、あらゆる事態を想定した、招集や避難誘導の教養が職員全員に周知されているなど、必要な安全対策が講じられている。 ・個人情報の適正管理を図るため、利用申込書、教習原簿を施錠できるキャビネットに保管しているほか、受付窓口には衝立を設置し、多人数の受付であっても、個人受付を行い個人情報の漏えい防止に努めるなど、適切な情報管理がなされている。
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の設置目的に即した管理運営がなされており、実践・体験型の安全教育の専門的スキルを活用した研修内容であり、継続した利用促進に取り組んでいる。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項

中期経営目標における利用者数の目標実現に向けた取組に期待します。